



〈連載(277)〉

佐渡汽船の新造船「ときわ丸」に乗る



大阪府立大学大学院 海洋システム工学分野教授  
池田 良穂

佐渡航路に新造カーフェリー「ときわ丸」が登場したと聞いて、できるだけ早く乗りに行きたいと思っていた。佐渡航路のカーフェリーは3時間程度の短距離航路ではあるが、代々旅客設備が充実しており、今回の新造船の中身がたいへん気になっていた。

8月上旬の土日にてかけることにしたものの、夏休み真っ盛りということもあって大阪から新潟までの飛行機が満席でとれない。しかたなく、JRのお出かけネットで調べると、東京経由の新幹線が最短所要時間でお薦めコースとしてでてきた。しかし値段も高いので、さらにいろいろ調べてみると、在来線の特急を使って富山で乗り継いで新潟に行くと、「ときわ丸」の出港する16時には十分に間に合うことがわかった。

こうして、新潟・佐渡への調査旅行が決まった。

8月2日、大阪駅7時40分の特急サンダーバードに乗り、富山には11時5分に到着した。10分ほどの接続で、新潟行きの特急に乗り継いだ。この特急の指定席が前もってとれなかったもので、自由席の入口で並んで乗車し、結構混んでいたが、なんとか席

を確保することができた。しかし、そのうちに通路は立客で一杯となり、しかも新潟到着の14時20分まで車内販売もないので、昼食抜きで空腹のまま新潟まで過ごすこととなった。

出た頃の大阪は、九州西岸を北上する大型台風の影響で雨がぱらついていたが、新潟は灼熱の晴天。まずタクシーで佐渡汽船のフェリーターミナルの傍にそそり立つホテル日航に行き、最上階の展望台に登って、15時に新潟港に到着する「ときわ丸」、続いて入港してきた新日本海フェリーの「あざれあ」の姿を撮影することができた。



新潟港に着岸直前の「ときわ丸」。今までは純白の船体だった佐渡汽船としては、初めて、濃紺と白のツートンカラーのカラーリングとなった。



停泊する「ときわ丸」と、その先の水域で回頭して後進で着岸する新日本海フェリーの北海道航路船「あざれあ」

佐渡汽船のターミナルに移動し、インターネットで予約しておいた1等の椅子席のチケットを購入して、待合室で待機。

15時40分に乗船が始まった。本船は、総トン数5380トン、全長125m、幅21.8mで、旅客定員1500名の離島航路としては大型のカーフェリーだ。建造は、広島市の神田造船。

旅客スペースは3層あり、最上階の前方にはゆったりとした展望ラウンジがあり、その後ろに予約していた1等椅子席があった。靴は入口で脱ぐようになっていて、カーペット式の部屋には、完全に横になれるまで背中部分を倒すことができる椅子がならんでいる。この他に個室の貴賓室や、特等、1等和室、2等椅子室、和室など多彩な旅客設備があるところは、さすがに佐渡汽船の船だ。

船尾には2層吹き抜けのイベントホール

があり、またインサイドプロムナードには椅子とテーブルが並んでいる。

食事についてはカウンター式の食事・飲み物の販売所があり、その近くにはテーブルが配置されていて、そこでの飲食が可能だ。

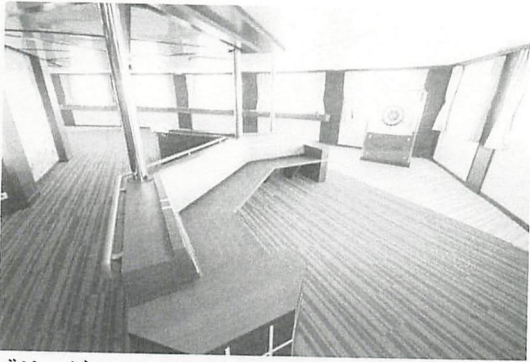
オープンデッキは、船首、中央、船尾に分かれていて、船尾のオープンデッキのみが外部階段で上下に移動ができる。船首側のオープンデッキは、展望ラウンジから直接出ることができるので、シップウォッチングには最適なロケーションだ。



1等椅子席。背中部分は水平まで倒れてベッド代わりになる。



船内案内所の上の壁には羽ばたく朱鷺の絵が掲げられている。



ブリッジの上に位置する眺望のよい展望ラウンジ



3階のフロアーには佐渡汽船の歴代船の写真が展示されている。



2層吹き抜けのイベント広場では、各種のイベントが行われる。

新潟港の港口を出たところで、佐渡からのジェットフォイルと遭遇。間近を全速で翼走するよい写真が撮れた。17時半少し前に、新潟に向かう佐渡汽船のカーフェリーと反航。逆光でもあり、こちらはあまりよい写真にはならなかった。

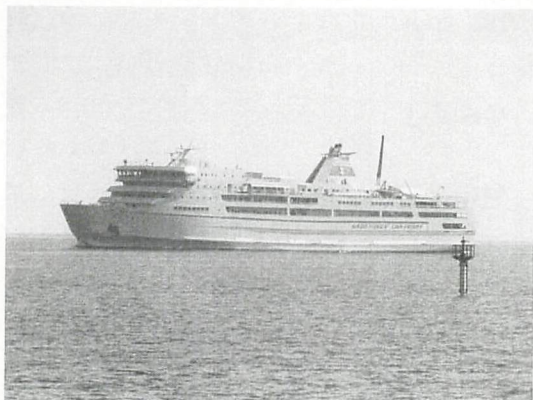
18時20分、定刻より若干早く、両津に到着した。レンタカーを借りて、宿舎に向かった。湖畔の高台にある古い温泉旅館だった。

翌朝、7時過ぎに朝食をとってすぐに港に行き、入港船を待つ。最初の便は新潟からのジェットフォイルであった。8時半前に、両津港の入口で入港して来る佐渡汽船のフェリー「おけさ丸」を撮影してから、陸路小木港に向かう。約1時間強で到着。ちょうどフェリー「こさど丸」が入港して来るころだった。この小木航路には、オーストラリア製の超高速カーフェリーが近々登場することとなっている。大いに楽しみだ。この航路の超高速カーフェリーの船酔いについての研究を6年ほど前に実施しており、その成果との比較ができる日が来るかもしれない。

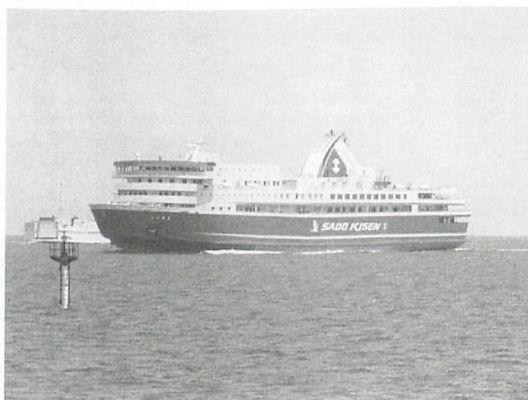
両津港に戻って「ときわ丸」の入港を待つ。11時半過ぎ、定刻より20分ほど早く入港してきた。

12時40分発の「ときわ丸」に再び乗船。2時間20分の航海で新潟港に戻った。朝から佐渡の中を駆け回った疲れから、1等の椅子席で眠ってしまった。目覚めると新潟港が迫っていた。新潟港に入港の際、後ろには新日本海フェリーの「フェリーしらかば」が続いている。

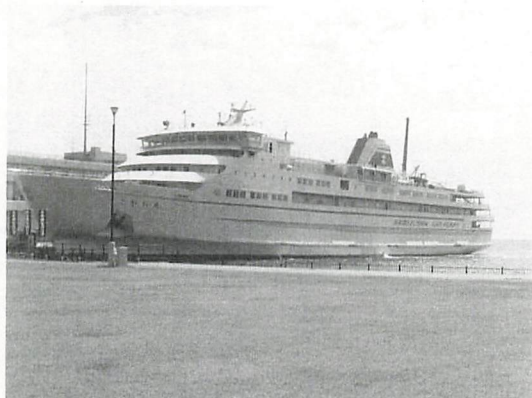
下船した後、入港する「フェリーしらかば」を撮ろうと場所を探したが、佐渡汽船のターミナル付近では見つからずに、隣のホテル日航まで駆けて、展望台まで上がった。しかし船は、すでにその時にはほとんど着岸しかけの状態で、着岸完了時の全景しか撮影することができなかった。



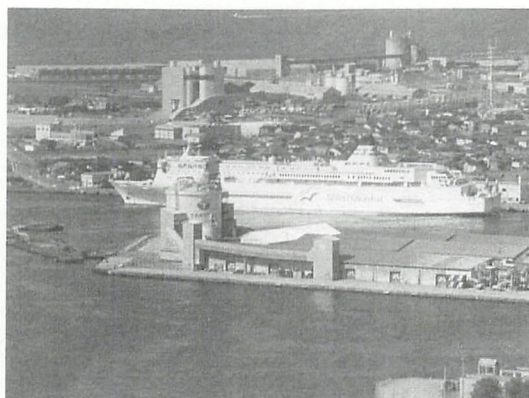
両津港に入港する「ときわ丸」の僚船「おけさ丸」



両津港に入港する「ときわ丸」



小木港に停泊する「こさど丸」。間もなく、超高速カーフェリーに代替される。



新潟港に着岸する「フェリーしらかば」。ホテル日航の上の展望台からの撮影

## Eメール質問箱

読者の皆様からの、ご質問・ご意見をインターネットで受付け致します。

どんなことでも結構です。どしどしお寄せ下さい。

ご質問については、小社で出来得る限り回答致します。不明の点についても関係各方面に問い合わせ、ご期待に沿えるよう努力いたします。



ご意見には実名・匿名の区別をご指示下さい  
アドレス [kyoyu@sanynet.ne.jp](mailto:kyoyu@sanynet.ne.jp)